

令和7年度 第5回 まちで暮らすネットワーク～地域生活支援部会～ 定例会 【NHK連携プロジェクト 報告会】 議事録	
日 時	令和8年1月8日（木）13：30～15：30
開催場所	保土ケ谷区役所5F 501・502 会議室
出席者 （敬称略）	<p>【参加者】リビットはうす、白根学園光の丘相談室、夢21ホーム、相談支援事業所わおん、銀河和田町、はるの家、西区基幹相談支援センター2名、光風会のばら園、ユーススタイルケア横浜・重度訪問介護2名 ＝11名</p> <p>【事務局】夢21、区高齢障害、基幹相談3名、恵和青年寮（副部会長）、ほどがや希望の家、生活SC（部会長）、十愛病院 ＝9名</p>
欠席者	
開催形態	公開（傍聴人： 名） ・ 非公開
議 題	<p>◆事務局メンバー 13:00集合（区 501・502）に集合</p> <p>①流れの確認 ②会場レイアウト準備、受付準備</p> <p>【役割分担】駐車券対応：区役所、書記／写真：基幹相談、司会／部会長</p> <p>*****</p> <p>（I）あいさつ、ルール説明 13:30～13:40（10分） ※部会長より</p> <p>13：30</p> <p>・令和7年度第5回「まちで暮らすネットワーク 地域生活支援部会」</p> <p>【本日のテーマ】</p> <p>N・H・K連携プロジェクト 報告会</p> <p>第1部 13：35～14:30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状の課題 保土ケ谷区基幹相談支援センター ・実践報告 恵和、保土ケ谷区基幹相談支援センター <p>第2部 グループワーク 14:30～15:15（45分）</p> <p>【3テーマのうちの1テーマを選び、ワークする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①自分の事業所で、NHK連携PJに入ったとして、自事業所で出来そうこと ②自事業所で、エリア（区内）の拠点整備で、力を発揮できることは何？ ③自事業所で、エリアにおける人材育成について、「できること/役割を担えそうこと」を意見出し（自法人内だけでなく、エリアの支援力を高める目的での人材育成） <p>※第2部のあと、全体共有 15:15～15:25（10分）⇒次回予告 15:30 終了</p>

(2) N・H・K 連携プロジェクト 報告会 13:40~14:25 (45分)

【報告者】 恵和青年寮、保土ヶ谷区基幹相談支援センター

- 1) N・H・K 連携プロジェクトとは？ (保土ヶ谷区基幹)
- 2) 事業の背景と目的 「なぜ、いま、この連携なのか？」 (恵和)
- 3) 具体的アクション ～「座学」から「実践」へ (保土ヶ谷区基幹、恵和)
- 4) 活動の成果 (保土ヶ谷区基幹、恵和)
- 5) 今後への期待 (保土ヶ谷区基幹、恵和)

※発表後、NHK 連携プロジェクトのメンバーである西区基幹相談より
ひとこと

(3) グループワーク 14:25~15:15 (50分) ※部会長より:

【ルール説明】

- ・グループワークは 50 分予定。
- ・各グループにはファシリテーターがいる。
- ・ファシリテーションの進行で、話し合うテーマ、記録者、発表者を決める。
- ・記録は、ワークシートをお使いください。(サインペンで！)

1G=【Q】 自事業所で、エリアにおける人材育成について、「できること/役割を担えそうこと」

- ・医療的ケアを担える人材育成
- ・行動障害をテーマにした勉強会
- ・GH を対象にしたオンラインの研修会
- ・人材育成する仕組みを、エリアで作る
- ・管理職を対象にした研修

2G=【Q】 自事業所で、エリアにおける人材育成について、「できること/役割を担えそうこと」

- ・地域定着支援が普及するための仕組みづくり
- ・本人のライフストーリーの大切さを学ぶ機会が必要
- ・主任相談支援専門員がアドバイザー的に動けるようになると、地域の支援力向上が期待できる
- ・人材育成もそうだが、定着が大きなテーマ。NHK プロジェクトの成果に期待。
- ・相談支援事業所どうしが単独で動くのではなく、個別のケースでも連携して動くといい
- ・福祉的人材を、1 事業所 1 法人で育成するのではなく、地域の複数法人で育成、地域の中で、適材適所がしていければ。
- ・人材育成においては、意思決定支援もポイント。

3G＝【Q】自事業所で、エリアの拠点整備で、力を発揮できることは何？

- ・入退院を繰り返す人の退院後の生活の場帳の調整・・俯瞰する役割の人が必要
- ・就労系の役割・・働くための受け皿。お試し利用も。
- ・GH・・情報交換の場があるとよい
- ・入所と GH の役割はかぶる。お互いを知る機会が必要
- ・入所の地域移行にはガイヘル解禁があれば
- ・地活の役割・・・入院や入所中に、お試し野庭として
- ・支援困難な人を支える人材育成
- ・職場の垣根を越えた人材交流

(4) 全体共有 15:15～15:25(10分) ※部会長より:

1G テーマ③ 「人材育成について」

内部や外部の研修により外部と繋がる事ができる。
まずは見学会などで知る事から

2G テーマ③ 「人材育成について」

人材育成にこだわらず、地域づくりが必要ではないか。
事業所で人材を育成するのではなく、地域で育成する。
支援者の支援は地域でおこなう仕組み、地域住民への啓発活動も大切

3G テーマ② 「拠点整備で力を発揮できる事」を中心に

施設から地域移行
入院中から、体験をしたケース 退院後の生活の場を調整した経験から、
全体を俯瞰する役割の必要を感じた。
地域交流は会議を開催していきたい。

(5) 告知ほか 15:25～15:30(5分) ※部会長より:

- ・恵和より 事例報告会 2/1 14:00～17:00 旭公会堂
- ・障害のある人の暮らす権利 2/4 13:30～16:00 横浜市健康福祉総合センター
(夢 21 ホームより)

・【次回予告】 2026年2月 12 日(木) 13:30～15:30
保土ヶ谷区役所 501、502 会議室 1 年間の「取り組みの振り返り」
「次年度やってみたいこと」をテーマに、部会の年間計画を話し合う。

